

特集

- **第1回通常総代会開催**
- **役員、総代、評価会委員 紹介**



香川県農業共済組合通常総代会を開催



変化に対応するNOSAへ



あいさつをする上砂正義組合長



議長を務めた新居文夫総代

6月4日、高松市林町のサンメッセ香川にて県内1組合への合併後、初めての通常総代会を開催しました(総代201名中本人出席167名、書面出席30名)。また、各関係団体から多数のご臨席をいただきました。「県内1つの組合となったことで、これから大きく変わる農業情勢にも対応できるよう、役員一同、一層の努力をして参ります」という上砂組合長の力強いあいさつの後、議長に丸亀市飯山南地区の新居文夫総代を選出し、議事に入りました。議事では、第1号議案 平成24年度業務報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分案並びに不足金処理案の承認についてなど全15議案が審議され、原案通り可決されました。

提出された議案

第1号議案 平成24年度業務報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分案並びに不足金処理案の承認について
平成24年度事業実績共済金額(契約高) / 1兆5562億円
支払共済金 / 10億9753万円

第2号議案 平成25年度事業計画並びに業務取支算書(案)の承認について
推進目標 総共済金額(契約高) / 1兆4514億円 (4面に関連記事)

第3号議案 平成25年度事務費等賦課額、賦課方法及び徴収方法の承認について
事務費賦課金総額 / 6億3801万円
賦課方法及び徴収方法 共済目的別に、共済掛金と同時に徴収する。ただし、家畜共済の分納の場合は分納回数に付けて徴収する。短期又は期間途中の共済金額増額の場合は月割計算とする。

第4号議案 役員・顧問、損害評価委員会等の報酬及び損害評価員、共済部長手当の承認について

合計 / 8984万円以内

第5号議案 借入金最高限度額等の承認について
借入金額 / 10億円以内
借入先 / 農林漁業信用基金、香川県農業協同組合、百十四銀行

第6号議案 余裕金の預入先金融機関の承認について
農林中央金庫、香川県信用農業協同組合連合会、香川県農業協同組合、百十四銀行、香川銀行、三井住友信託銀行、三井住友銀行、ゆうちょ銀行、観音寺信用金庫

第7号議案 平成25年度無事戻し金の支払額の承認について
農作物共済 / 8397戸
4500万円以内

第8号議案 特別積立金の取崩しの承認について
農作物共済 / 28戸
50万円以内
畑作物共済 / 28戸
畑作物共済 / 28戸
200万円以内
園芸施設共済 / 234戸
建物共済 / 6万3397戸
4200万円以内

第9号議案 定款の一部変更の承認について
農作物勘定合計 / 750万円以内
畑作物勘定合計 / 10万円以内

香川県農業共済組合定款一部変更

第10号議案 損害評価委員会及び家畜診療所運営委員の選任について
損害評価委員会182名、家畜診療所運営委員4名

第11号議案 役員を選任について
香川県農業共済組合役員推薦会議において推薦された理事23名、監事3名の選任 (6面に関連記事)

第12号議案 諸規則の承認について
総代会議事運営規則、監事監査規則、職員給与規則及び職員退職給与規則を制定

第13号議案 業務引当金の上限の承認について
将来の収入不足や予見しがたい支出に備え、業務運営上に必要な額

第14号議案 建物共済約款・農機具共済約款の報告について
業務引当金上限額 / 4億円

第15号議案 附帯決議
決議事項中において、行政庁の指示による軽微な事項の修正または変更並びに年度途中での国庫補助金等の増減による収支概算書の修正または変更を必要とする場合は理事会に一任する。

来賓紹介



全国農業共済協会 常務理事 鈴木直氏
香川県農業協同組合中央会 幹事 港義弘氏
香川県農業会連合会 会長 三笠輝彦氏
香川県市長会 会長 大山茂樹氏
中国四国農政局 高松地域センター長 重徳治幸氏
香川県農政水産部 部長 川池秀文氏

平成24年度 事業実績

事業種別	引受面積	引受頭数	引受棟数	引受台数	共済金額	支払共済金
水稲共済	1,431,643 畝				9,456,880,179 円	31,524,962 円
麦共済	234,717 畝				931,230,453 円	60,533,237 円
家畜共済		40,464 頭			4,931,842,600 円	325,661,138 円
果樹共済	48,033 畝				601,389,000 円	41,999,740 円
畑作物共済	6,100 畝				28,390,248 円	1,224,252 円
農業施設共済			3,876 棟		2,272,456,000 円	28,427,106 円
建物共済			117,582 棟		1,488,218,940,000 円	366,557,906 円
農機具共済				22,918 台	49,813,700,000 円	241,597,782 円
合計					1,556,254,828,480 円	1,097,526,123 円



総代会
スナップ

平成24年度業務収支 (単位: 万円)

総額: 24 億 3,137 万円

支出

- 人件費 / 114,924
- 事務費 / 6,390
- 業務費 / 8,033
- 普及推進費 / 20,440
- 施設費 / 8,383
- 損害評価費 / 5,748
- 損害防止費 / 3,654
- 業務引当金繰入 / 4,201
- 建設引当金繰入 / 6,327
- 事業勘定繰入 / 4,440
- 固定資産自己財源取得費 / 50,125
- その他 / 10,472

収入

- 受取補助金 / 58,026
- 受取奨励金 / 9,818
- 賦課金 / 10,692
- 受取利息 / 19,564
- 事業勘定受入 / 75,541
- 前期繰越業務残金 / 4,989
- 退職給付と金庫取崩預金付加金収入 / 3,606
- 事務機械化整備準備金繰入 / 4,437
- 建設引当金戻入 / 49,622
- その他 / 6,842

支出

- 人件費…役員報酬、職員給料手当、法定福利費、厚生福利費です。
- 事務費…電話料金等の通信運搬費、各種印刷等の図書印刷費、事務用品等の消耗品費、送金や振込の手数料です。
- 業務費…総代会、理事会等に要する会議費、講習会費、報告レポート等の委託費、共済部長手当等の報酬などです。
- 普及推進費…組合広報誌の制作や共済新聞の推進に要する広報費、建物農機具共済推進奨励金支払いに要する事業奨励費です。
- 施設費…光熱水費、公用車の燃料費、電算機器のリース料等の賃借料、建物等の維持管理に要する修繕維持費です。
- 損害評価費…損害評価に要する旅費交通費や委員報酬、会議や損害評価の実測に要する経費です。
- 損害防止費…損害防止事業としての薬剤購入費や、家畜共済において乳房炎や繁殖障害など特定疾病の損害防止のための費用です。

収入

- 受取補助金…農業共済組合を運営するにあたり、国が運営費の一部を負担しています。
- 受取奨励金…事業の普及推進のため、連合会から支払われる経費助成金です。
- 賦課金…農業災害補償法に定められた業務執行に必要な事務費のうち、国が負担する事務費以外の事務費を総代会で議決いただき、共済事業ごとに賦課金をいただいています。
- 受取利息…組合手持掛金のうち、共済金や無事戻し金の支払い等に支出して、なおかつ剰余金が発生した場合は事業勘定ごと積み立てられており、積立金を効率的に運用し得られた利息です。運用にあたっては、大切な加入者の財産ですので、農林水産大臣が指定した範囲の金融商品となります。
- 事業勘定受入…建物、農機具共済の掛金は掛金全部分 (災害に備える掛金) と事務費部分があり、後者が組合の重要な収入源となっています。

平成25年度 事業計画

総共済金額 1,451,392,195 千円

水稲共済	引受面積	14,600 畝	畑作物共済	引受面積	55 畝
	共済金額	9,734,161 千円		共済金額	27,013 千円
麦共済	引受面積	2,330 畝	農業施設共済	引受棟数	3,513 棟
	共済金額	923,930 千円		共済金額	2,129,700 千円
家畜共済	引受頭数	39,253 頭	建物共済	引受棟数	109,000 棟
	共済金額	4,704,531 千円		共済金額	1,384,037,000 千円
果樹共済	引受面積	457 畝	農機具共済	引受台数	22,400 台
	共済金額	593,860 千円		共済金額	49,242,000 千円

役員紹介

組合長あいさつ



上砂正義 組合長(高松)

組合員の皆さまには、日頃よりNOSA I事業に格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

6月4日の総代会において、理事23名、監事3名の選任をいただきました。今後、一層の農家経営の安定と組合員サービスの向上に努めてまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

役員任期

平成25年6月10日から3年間



田中健次郎 理事(東部)



吉田 勲 理事(東部)



田中孝博 理事(東部)



藤井正和 代表監事(中畿)



宮崎仁 副組合長(三豊)



石井鶴敏 理事(小豆)



三好正和 理事(高松)



宮本静夫 理事(高松)



宮武正明 理事(高松)



香西俊之 理事(高松)



杉尾眞澄 理事(仲多度)



大林伸嘉 理事(中畿)



石井保洋 理事(中畿)



川井悟 理事(中畿)



熊本美文 理事(中畿)



小野正俊 理事(三豊)



横山正太郎 理事(三豊)



山内保弘 理事(仲多度)



数川武夫 理事(仲多度)



谷口義弘 理事(仲多度)



中西義弘 監事(三豊)



中山敏夫 監事(高松)



合田由行 理事(三豊)



合田政光 理事(三豊)



松内敏男 理事(三豊)

総代さんから一言



観音寺市栗井町
山岡 基員さん (71)

損害防止事業に期待
NOSA Iの役割は、災害補償と被害の未然防止だと考える。損害防止事業や奨励措置など、さらなる拡充と、各支所間の格差是正をお願いしたい。
また、我々組合員の声をきめ細かくとらえ、役職員、組合員が議論を重ね、相互の信頼を通して、農業発展につなげていただきたい。



高松市三谷町
三谷 博祥さん (77)

支所機能の強化
組織が大きくなって、大備な合理化などで組合と農家との関係が薄らいでいく心配はある。農家とのつながりをもう一度見直し、支所機能の強化と適切な合理化を目指してほしい。
今後も、公正・適正な損害評価で、農家の信頼に応えるNOSA Iに期待している。



さぬき市大川町
入道 一士さん (66)

県内の情報交流を
県内1組合となって基盤も盤石になったので、組合員に対して幅広く安全・安心を届けて、組合員が安定して農業経営が行えるよう努めてもらいたい。
また、県内の情報を各支所が共有し、それを組合員に伝えるような体制作りを心がけていただきたい。



表彰を受ける中嶋勇氏

平成24年度任意共済事業
推進功績者表彰
「建物共済の部」
細川 秀男 (東部)
神保 正弘 (高松)
平賀 達夫 (高松)
中嶋 勇 (小豆)
長尾 久信 (中畿)
蓮井 道夫 (仲多度)
加地 剛 (三豊)
栗井 猛 (三豊)

6月4日、高松市林町のサンメッセ香川にて、平成24年度「信頼のきずな」未来を拓く運動中央表彰伝達式が行われました。平成24年度事業推進に功績のあつた共済部長や、NOSA I制度の普及に貢献された基礎組織などに感謝状が贈られました。受賞者は次のとおりです。(敬称略)



賞状を受け取るあくり豊野専ら 豊田隆文氏

「農機具共済の部」
池本 利久 (東部)
広瀬 正夫 (東部)
多田 和紀 (高松)
平星 光祥 (高松)
大野 宣行 (中畿)
谷本 利信 (中畿)
細川 敏敏 (仲多度)
小田 仁志 (仲多度)
岩本 土司夫 (三豊)
近藤 弘 (三豊)

「信頼のきずな」未来を拓く運動組合等優秀基礎組織表彰(安芸組織・青年組織) NOSA I東部 あぐり塾
農業共済新聞地方版優秀記事賞
「銀賞」
大西 義次

おめでと〜うございませう
平成24年度「信頼のきずな」未来を拓く運動中央表彰伝達式

いきいき農家

このコーナーでは
さまざまな活動や工夫で
頑張っている農家の方を紹介します

アスパラガス経営を スタート

期待の若手農業者

「さぬきのめざめ」に期待

高松市川部町 野口 拓朗さん

高松市川部町で、2012年5月
から農業を始めた新規就農者の野口
拓朗さん(30)。地元のアスパラガス
農家で研修していたとき、県オリジ
ナルブランド「さぬきのめざめ」と出



アスパラガス農家の野口拓朗さん

会い、アスパラガスの将来性に興味を
持ちました」と、現在、ハウス12坪で
アスパラガスを栽培する。
野口さんは、枠板を使ってうねの
高さを上げる「高うね栽培」を導入し、
作業労力を軽減している。「経営作物
を選定する際、体に負担がかからな



いという点が大きな決め手になりま
した」。うね高は60cm。経費削減目的
で廃材や中古のパイプを利用して自
作し、かかった経費は30〜40万円、
業者委託の半額程度に抑えた。
予防のタイミングや作物管理など
栽培技術で分からない事は普及セン
ターや先輩農家に聞く。「分るまで
神経質なくらいに聞きます」と毎日
が真剣だ。

会社を退職し、JAのインターン制
度を1年間利用後に本格就農。今年
3月、定植2年目のハウスから初出
荷、「不良品が少ない事が好結果に繋
がりました」とますますのスタート。
出荷1年目の本年度は約800kgの
出荷を予定する。
昨年8月、就農支援資金などを活
用してハウスを新たに増設するなど

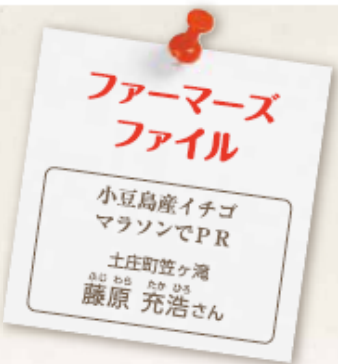


「高うね栽培は収穫などの作業が楽です」と野口さん



自作した高うね栽培のアスパラガスハウスで選別作業

着々と規模拡大の準備をする野口さ
ん。当面の目標は20坪を目指す。
アスパラガスの収量は年々増える
ため来年以降の収穫に期待は膨らむ。



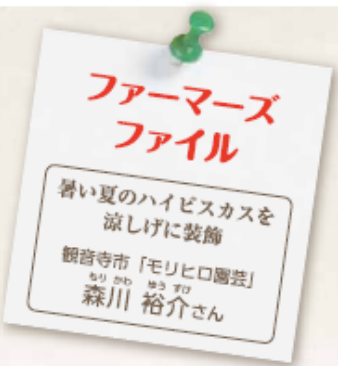
かわいいイチゴの帽子をかぶりマ
ラソンに参加するのは、イチゴ「女
峰」を14坪で養液栽培する藤原充浩
さん(土庄町笠ヶ滝、30歳)。「小豆
島産イチゴを島内外にPRする絶好
のチャンス」と、藤原さんを中心に、
若手イチゴ農家組織「莓一会(いち
ごいちえ)」(10人)の有志メンバ
ーで参加する。
「かぶり物をしてのマラソンは暑い
ですが、ひと際目立ちますし、沿道の



イチゴの帽子をかぶってマラソンに参加する藤原さん(右)と
後援メンバーの藤井浩太郎さん(27)

方はひと際大きな声で応援してくれ
るので、気持ちは奮い立ちます」と
藤原さん。
参加するのはオーリーブマラソンと
ターゲットマラソンの年2回。今年も
10kmコースに出場、完走した。

「これからも多くの人に小豆島産イ
チゴを知ってもらえるよう「一期一
会」の気持ちを大切に走り続けたい」
と話す。



ハイビスカス、ポインセチアなど
をはじめ、多様な花き商品を展開し
ている「モリヒロ園芸」(観音寺市高
屋町)。従来ビニールポットで出荷し
ていたハイビスカスを、オリジナル
デザインのパッケージで包装し、ト
ロピカルシリーズとして販売してい
る。購入後は、パッケージを組み立



組み立ててポットスリーブと受け皿としても使用できる
パッケージ

ててポットスリーブと受け皿として
も使用できる。
森川裕介社長(40)は「お家でお
楽しみいただくことはもちろん、プ
レゼント用の包装としてそのままお
使いいただけます」と説明す
る。店頭で目を引き、花を購
入したことのなかった新規購
買層を開拓することが目的。

半透明の涼しげなパッケ
ージは、花の色と同色。ハイビ
スカスをいつそう鮮やかにみ
せる。
「販売方法が課題で、直感
的に理解いただける広告方法
を模索しています」と、今後
の展望に熱意を見せる。



笑顔が素敵な藤原さんにはイチゴが良く似合う

※インターネットや
ブログ、フェイス
ブックで「小豆島い
ちご」を検索すると、
「莓一会」の活動を
見ることができま



「日々新しい商品。販売方法を考案しています」と森川社長

つくってんまい!
たべてんまい!

うちのごはん

vol.
02

香り豊かな パセリの白和え



〈パセリ〉

パセリは、人体に必要なビタミン・ミネラル・食物繊維などが多く含まれている代表的な緑黄色野菜で、栄養素の含有率はトップクラスです。また、悪玉コレステロールから体を守り、動脈硬化・高血圧・心筋梗塞などの生活習慣病（成人病）を防ぐ葉緑素も多く含まれています。毎日の料理にぜひ加えてください。

材料(4人分)

●パセリ	60グラム
●ニンジン	70グラム
●コンニャク	50グラム
●豆腐	150グラム
●ゴマ	20グラム
●白味噌	大さじ1
●砂糖	45グラム

作り方

ビタミン・ミネラル豊富！生活習慣病対策に是非、食卓に。

1



ニンジン、コンニャクを短冊切りし、ゆでる。

2



パセリはしんなりする程度軽くゆで、みじん切にする。

3



すり鉢でゴマ、豆腐、白味噌、砂糖を合わせてする。

4



2をボウルに移し、1と3を混ぜ合わせると完成。

味増は
地域で作った
大豆からの手作りです。
味増に和えたパセリの香りを、
ぜひ味わってください。



料理紹介
東かがわ市水主 田村 照栄さん

【あしがき】
昨年は香川県に大きな被害
を与える災害も少なかったと
思います。しかし国内では、
近年の頻発低気圧や竜巻など
突拍子のない災害が起こる傾
向にあります。自然は気まぐ
れに態度を変えますが、きち
んと向き合っていきたいです。



出荷は主に「J」だが、給食
センターなどにも出荷してお
り、子供たちに人気のデザー
トとなっている。

【表紙のつづき】
表紙は、さぬき市長尾西の
木村一夫さん(69)。
メロン栽培は一夫さんの両
親が始め、自身も栽培歴40年
を超えるベテランだ。
1992年から栽培するメ
ロン品種「タカミ」は、糖度が
高く食味がいいのが特徴。「甘
さにばらつきが少ないし、今
まで何種類ものメロンを作っ
たが、この品種が一番おいし
い。今年は天候に恵まれ、今
までにならない高品質に仕上が
っています」と木村さん。肥料
に魚やカニなどの骨粉を使用
し、糖度を高める工夫も行っ
ている。